

# 令和6年度 社会学類編入学試験

## 【法学】

### 専門科目問題冊子

#### (注意事項)

- ・問題冊子1部、解答用紙2枚が配られているか、確認してください。
- ・これは法学主専攻の試験問題です。あらかじめ届け出ている主専攻と合致しているか、確認してください。
- ・すべての解答用紙の所定欄に、学群、学類、氏名、受験番号を記入してください。これらが正しく記入されていない答案は、採点できないことがあります。
- ・法学の専門科目問題は、【問題1】、【問題2】の2つで構成されています。すべての設問に解答してください。
- ・解答用紙は、【問題1】、【問題2】のそれぞれについて1枚を使用してください。(合計2枚を使用)。なお、解答用紙の第1行目に、解答した問いの番号(【問題1】、【問題2】)を、それぞれ記入してください。
- ・解答欄が足りない場合には、裏面を利用してください。ただし、その場合には、解答用紙の表の最終行に「裏面へ続く」旨記入してください。

【問題 1】

令和 6 年度編入試験問題（私法）

問 1 次の用語の意味を説明しなさい。

- (1) 第三債務者
- (2) 第三者詐欺
- (3) 悪意の第三者
- (4) 不動産の第三取得者
- (5) 物上保証人
- (6) 相殺適状
- (7) 包括遺贈
- (8) 抗弁
- (9) 債権の準占有者
- (10) 混同

問 2 大学教員 X は、国から受領した研究費を用いて調査を行い、論文を執筆して公表した。これに対して国会議員 Y は、自己の SNS、ブログ、インターネットテレビ番組、及び国会での質疑において、

- ①「この研究は国益に反する主張をしており、こんな研究に研究費が支給されることは間違っている」、
  - ②「この論文は結論が先にあるようなものでレベルが低く、研究の名に値しない」、
  - ③「この研究では研究期間外に研究費が使用されている可能性があり、調査が必要だ」、
  - ④「研究費を管理しているのは大学だから、疑問に思う人は大学に問い合わせてもらいたい」、
- 等と発言ないし情報発信し、その後、X の所属大学に対して、多数の者からの問い合わせが寄せられた。

以上の状況の下で、X の Y に対する、名誉毀損あるいは業務妨害を理由とした損害賠償請求が認められるべきか否かについて、自己の意見を理由と共に述べよ。

以上

令和6年度 社会学類編入学試験  
【法学】  
外国語（英語）問題冊子

（注意事項）

- ・問題冊子1部、解答用紙1枚が配られているか、確認してください。
- ・これは法学主専攻の試験問題です。あらかじめ届け出ている主専攻と合致しているか、確認してください。
- ・すべての解答用紙の所定欄に、学群、学類、氏名、受験番号を記入してください。これらが正しく記入されていない答案は、採点できないことがあります。
- ・解答欄が足りない場合には、裏面を利用してください。ただし、その場合には、解答用紙の表の最終行に「裏面へ続く」旨記入してください。

次の英文を読み、〔問 1〕から〔問 4〕までの各問に日本語で答えなさい。

(この部分は、著作権の都合により公開できません)

(この部分は、著作権の都合により公開できません)

(この部分は、著作権の都合により公開できません)

(註 1) scathing rebuttal 反駁

(註 2) SAT アメリカ合衆国における大学入学のための標準テスト

[問 1] 何の例として下線部 (A) にある大学が言及されているか。

[問 2] 下線部 (B) と関連し、歴史的な差別への対応策としてのアファーマティブアクションについて自らの見解を示しなさい。

[問 3] 下線部 (C) を全訳しなさい。なお、人名である「Kenny Xu」はそのまま記載すればよい。

[問 4] 本文によれば、最高裁長官及びジョン・ロバーツ米国最高裁長官 (Chief Justice John Roberts) がアファーマティブアクションを違憲であると評価しているのはなぜか。

出典 : The Japan Times, Jun 30, 2023, U.S. Supreme Court bans race-based university admission, <https://www.japantimes.co.jp/news/2023/06/30/world/us-supreme-court-affirmative-action-ruling/> (2023 年 10 月 30 日閲覧、問題作成に必要な限りで註を挿入した。)

## [問題2]

1. 次の用語の意味を説明しなさい

(1)親告罪

(2)遍在説

(3)結果的加重犯

(4)行為主義

2. Xが若者Vを殴って軽傷を負わせたところ、Vに心臓の疾患があったため、殴打された際の衝撃で死亡した。Vの疾患は誰も知らなかった事実であり、かつ、誰も知ることができない事実であった場合、Xの行為とVの死亡との因果関係は認められるか。